
会 告

懸賞論文の入賞決定

八幡製鉄渡辺記念資金による事業の一部として、さきに「わが国鉄鋼業に関する技術開発の方策」と題する論文の懸賞募集を行いました。その後本会内に特に設けられた審査委員会において応募論文全部にわたって慎重に審査し、さらに理事会の議決を経て下記の通り決定しました。

- 1等 該当者なし
2等 東京都品川区小山8の1108 木下 亨君
3等 日立市油繩子町吼洋寮内 元田 欽也君

(2等論文は本誌 1299 ページに掲載してあります)

石原研究奨励金について

鉄鋼に関する研究の振興と、その実際化をはかるため、本会では石原米太郎氏の寄贈に係る石原研究基金により、「石原研究奨励金」の制度を設け、つぎの要項により候補研究を募ります。

1. 交付対象 鉄鋼の学術および技術に関する研究に従事する個人または団体、研究者は原則として本会会員とするも共同研究の場合は本会会員以外の者が参加することを妨げない。
2. 研究内容
 - イ. 研究途上にあるものでも、またこれから始めるものでもよい。(本奨励金を受けることによって開始するものを含む)
 - ロ. 基礎研究、応用研究いずれでもよい。
 - ハ. 個人研究、共同研究(他の分野との共同研究も含む)のどちらでもよい。
3. 交付金額 本年度は総額 80 万円の予定であるが、増減する場合がある。
4. 選定方法 本会内に設ける審査委員会で選定します。
5. 推薦者 研究候補の推薦者は本会役員(理事、監事、前会長、支部長、評議員)とする。研究者本人からの直接申込を認めない。
推薦者は東京都千代田区丸の内2の10 仲 14 号館日本鉄鋼協会宛申込下さい。
6. 締 切 昭和 35 年 1 月末日
7. 推薦書記載項目
 1. 推薦者氏名, 2. 研究題目, 3. 研究者住所氏名, 職業, 年令, 4. 推薦理由, 5. 研究費の現状, 6. この奨励金の希望金額, 7. 希望金額の内訳, 8. 研究計画の概要, 9. 研究者の主な実績, 10. 研究者の略歴
8. 報 告 本奨励金を受けた者は、年 2 回の中間報告をその他随時必要な報告、結果の報告を提出しなければならない。その結果の報告は原則として公表するものとする。

特別講演会開催案内

ドイツ鉄鋼協会特殊鋼分科会主査、特殊鋼協議会工具鋼技術委員会委員長ブリーフ博士(ドイツ特殊鋼株式会社主任技術者)の来日を機とし、日本金属学会と共催で下記の通り特別講演会を開催しますので御来聴下さい。

- 日 時: 11月16日(月)午後2時より
会 場: 東京都中央区京橋1の1ブリヂストンビル1階ホール
講 師: Dr. Herbert Briefs
(通訳 日本楽器製造株式会社 執印智司氏)
演 題: 最近における特殊鋼の金属学的方向

日本鉄鋼協会北陸支部 秋季講演会見学会案内

日本金属学会北陸信越支部

つぎの通り来る 11 月 15, 16 両日支部秋季講演会, 見学会を開催いたしますから多数御参加下さるよう御案内申し上げます。

1. 講演会

日 時 昭和 34 年 11 月 15 日 (日) 9:00~17:00
 会 場 富山大学経済学部一番教室 (富山市五福)
 バス 富山→高岡行 五福大学前下車
 市電 //

No.	時 間	題 目	講 演 者
	9:00~9:05	開 会 の 挨拶	日本鉄鋼協会北陸支部長 橋 浦 彦三 日本金属学会北陸信越支部長
1	9:05~9:25	鑄鉄の接種について (幻)	富山大学工学部 ○養田 実 平木 道幸 高山 藤一郎
2	9:25~9:45	砂鉄の電気炉製錬法に関する研究 (含チタン砂鉄鉱の還元製錬における諸元素の挙動)	呉羽製鉄 高井 清 佐藤 祐一郎 ○山本 未夫
3	9:45~10:05	砂鉄製錬において副産物としてバナジウムの 回収に関する研究	日曹製鋼・岩瀬 平 敏雄 ○小島 隆 大塚 芳直
4	10:05~10:25	砂鉄銑の利用について (鉄粉製造)	小松製作・氷見 西野 十朔 ○堀埜 一平 野村 忠
	10:25~10:35	(休 憩)	
5	10:35~10:55	フェロアロイの窒化について	日本鋼管・富山 三須 昭
6	10:55~11:10	高炭素クロム軸受鋼の焼入性試験について	不二越・富山 下村 建一
7	11:10~11:25	メタルバンドソーの熔接部の強度試験について	不二越・技研 永田 寛
8	11:25~11:45	極低炭素鋼の磁気的性能に関する研究	小松製作・粟津 薩摩林和美
9	11:45~12:00	微量のバナジウムを添加せる高炭素クロム 軸受鋼について	不二越・技研 大沢 真澄 玉川 義則 ○手崎 宗昭
	12:00~12:30	(昼 食)	
10	12:30~12:45	浸炭軸受の内部応力について	不二越・富山 寺川 秀男
11	12:45~1:05	マルテンサイトおよびフェライト系不銹鋼の 粒界腐蝕について (幻)	日本ステ・直江津 稲垣 博巳 ンレス
12	1:05~1:20	青化剤の老化に関する研究	不二越・技研 山岸憲一郎
13	1:20~1:35	滲炭窒化塩浴剤の分析法	不二越・技研 森 民平
14	1:35~1:50	高速度鋼の青化处理 (幻)	不二越・富山 浅井 武二 竹内 淳 ○加来 利貞
15	1:50~2:05	高速度鋼の焼付性について	不二越・技研 蜂須賀武治
16	2:05~2:25	金属マグネシウム中の酸化マグネシウムの定量	日本曹達・高岡 小田 伸彬 ○沢辺 重治
17	2:25~2:45	均化による金属マグネシウム中の全酸素の定量	日本曹達・高岡 小田 伸彬 ○則島 勝典
18	2:45~3:00	真空溶融法による鋼中酸素の定量について	不二越・技研 大沢 真澄 長野 心二 ○大野 武二
	3:00~3:10	(休 憩)	
19	3:10~3:25	電気抵抗によるCポテンシャル測定について	不二越・富山 井口 忠昭
20	3:25~3:40	超硬工具について (幻)	不二越・技研 蜂須賀武治 ○萩尾 武彦
21	3:40~4:00	最近の銅合金について (幻)	中越合金・富山 小川 宣孝
22	4:00~4:15	特殊鋼中の微量成分 Sn, As, Sb 定量について	不二越・技研 野村 武夫 ○安部 孝司

23	4・15～ 4・35	多種試料の統一定量分光分析法	日本曹達・高岡 小田 仲彬 ○井戸原 満
24	4・35～ 4・55	フェロシリコン中の Al の定量分光分析法	日本曹達・高岡 小田 仲彬 ○井戸原 満 塚島 清
	4・55	閉会の辞	富山大学工学部 室町 繁雄

2. 見学会

集合日時 昭和 34 年 11 月 16 日 (月) 午前 8 時 40 分
 集合場所 富山駅の西側, 日通前
 見学工場

- 工場名
1. 北陸樹脂工業 (株) (交渉中)
 2. (株) 広 貫 堂
 3. 不二越鋼材工業 (株) (同業者お断り)
 4. 北陸電気工業 (株)
 5. 北陸電力 (株) 神通第一発電所

営業品目
 電気, 紡績部品
 医薬品および関係製品
 切削工具, 軸受
 通信機用抵抗器
 発 電

見学順序

北陸樹脂工業 (9・00～9・20) →西町 (9・25) 広貫堂 (9・30～10・00) →不二越 (10・10～12・30)
 (昼食) →北陸電気工業 (13・00～13・30) →北電第一発電所 (13・50～15・00) →神通峡 (15・00
 16・00) →富山駅 (16・30)
 見学会費 バス代および中食代 200円

日本工学会創立 80 周年記念講演と映画の会

と き: 34 年 11 月 27 日 (金) 13・30～16・00

ところ: 蔵前工業会館 講堂 (5 階) 国電新橋駅前

開会の挨拶	加茂 会長	13・30～13・35
講演: 石油と石油化学	東京工業大学教授 崎川 範行	13・35～14・20
鉄道の近代化	日本国有鉄道技師長 島 秀雄	14・20～15・05
映画: こだまの超速度試験, 油脈を訪ねて, 外		15・10～16・00

第 10 回塑性加工講演会および第 3 回塑性加工シンポジウム

日本鉄鋼協会, 日本機械学会, 高分子学会, 精機学会, 塑性加工研究会, 日本金属学会連合で塑性加工講演会およびシンポジウムを下記要領により開催いたしますので, 多数会員の御聴講を希望します。

開催日 11 月 19 日 午前・午後: シンポジウム, 夜: 晩餐会, 20 日 講演会, 21 日 講演会
 会場 八重洲ロビルディング 8 階ホール

(東京都中央区京橋 1 の 4 東京駅八重洲口より 5 分ブリジストンビル真向越前屋ビル隣)

1. 第 3 回塑性加工シンポジウム

題目および講師

11月19日 (木) 午前の部 10 時開会

- (1) 最近の製線技術, ストレートライン伸線機について 昭和機械工作所 安部 良
- (2) 最近の細線伸線機について 西川鉄工所 米谷 春夫

午後の部 13 時 10 分開会

- (3) ローラダイスによる伸線の実際について 東大工 五弓 勇雄
- (4) 金属線の冷間圧延について 鈴木金属工業 五十嵐秀夫

2. 第 10 回塑性加工講演会

(講演数第 1 日 15, 第 2 日 16)

前刷 上記シンポジウムおよび講演には前刷がありますから 11 月 15 日までに着信するよう代金を添えてお申込み下さい。

シンポジウム・テキスト 定価 1 冊 金 200 円
 講演前刷 定価 1 冊 金 300 円 (送費負担)

申込先 東京都中央局区内 千代田区丸の内 2-2 丸ビル 561 区 日本機械学会